

# 平成 25 年度事業計画

(平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

平成 25 年度は次の項目を軸に事業計画を策定した。

1. 所蔵資料等の収集・展示公開及び調査・研究等
2. 民藝に関する普及・啓蒙推進活動
3. 民藝に関する工人の育成及び協力
4. 施設の管理と運営等

## 1. 資料の収集・展示公開等

### 1) 展覧会名とその概要

日本民藝館の展示室において 5 期に分けて展覧会を開催する。企画展にあわせた展覧会図録及びパンフレット等の制作と講演会・セミナー等を予定している。

#### ◆ 春期陳列「アイヌ工芸一祈りの文様」

会期：平成 25 年 4 月 2 日(火)―6 月 2 日(日)

内容：北海道とその周辺に暮らしたアイヌの人々は自然と深い信仰の暮らしの中で、独特の文様を生み出しました。当館創立者の柳宗悦はアイヌ文化を敬い、昭和 16 年には早くも「アイヌ工芸特別展」を開催しています。今回は切伏模様を施した衣裳や刀掛帯をはじめ、捧酒箸や小刀の鞘などの木工品、そして豪華なアイヌ玉などを展示します。

記念講演会（予定）：「アイヌの歴史と工芸」長田佳宏氏（二風谷アイヌ文化博物館学芸員）

ワークショップ（予定）：アイヌ工芸の体験学習（木彫と刺繍）

#### ◆ 夏期陳列「つきしま かるかや ー素朴表現の絵巻と説話」

会期：平成25年6月11日(火)―8月18日(日)

内容：日本の絵画史上、素朴美の極みに達したといえる室町時代の絵巻「築島物語」と絵入本「かるかや」（サントリー美術館蔵）。この二つの絵画を軸に、御伽草子絵巻をはじめとする絵巻物、曾我物語屏風などの物語絵、十王図などの絵解きで用いられた仏教説話画など、素朴表現がなされた絵画を中心に、館蔵品を一堂に展覧します。

記念講演会（予定）：「日本の素朴絵について」矢島新氏（跡見学園女子大学教授）

#### ◆ 秋期陳列「柳宗理の見てきたもの」

会期：平成25年8月27日(火)―11月21日(木)

内容：一昨年の暮れに逝去した柳宗理（1915―2011）。工業デザイナーとして世界的な活躍をする一方で、約 30 年間にわたり当館の三代目館長を務めました。本展では、柳宗理が生前に自らの眼で蒐集した、古今東西の仮面や布や陶磁器などの品々を展示。柳宗理がどのようなものを見つめながら、仕事や生活の糧としてきたのかを紹介します。

記念講演会（予定）：「柳宗理の仕事について」深澤直人（日本民藝館館長、プロダクトデザイナー）

#### ◆ 平成25年度「日本民藝館展―新作工芸公募展―」

会期：平成25年12月8日(土)―12月23日(月)

内容：手仕事による伝統的な工芸品を中心に、日本各地の新作工芸品の数々を展示・頒布する、恒例の新作工芸公募展です。(出品作：陶磁・織物・染物・木漆工・金工・竹工・藁及草工・硝子工・紙・他)

◆ 冬期陳列「茶と美―柳宗悦の茶」

会期：平成26年1月10日(金)―3月23日(日)

内容：柳宗悦がこころみた第一回民藝館茶会(1955年)は、既成の「茶」に囚われずに選んだ茶器と、自身考案の道具を用いたものでした。それは「美しき器物なくば『茶』は『茶』とはならぬ」(『茶道を想ふ』)という理念に基づいたものでもありました。今展はその第一回茶会と新撰茶器特別展(58年)、などを再構成し、柳の茶を顕彰するものです。

記念講演会(予定)：「柳宗悦の茶道論について」鈴木禎宏氏(お茶の水大学准教授)

## 2) 調査・研究

①民藝と係わりにある美術館や民藝の製作現地の見学を通じ、学芸員の能力向上を図る。

民藝関連資料・文献を収集し、学芸研究及び展示活動の充実を図る。

②展覧会図録「つきしま かるかや」の刊行、頒布による展覧会の充実。

③日本民藝館及び館収蔵品などを紹介する「仮：日本民藝館案内」の改訂版(和英バイリンガル)の刊行・頒布し、民藝普及を推進する。

④所蔵資料目録の整備を継続し、史料価値の高いものは公開できるように準備を進める。

## 3) 資料・文献などの保存と活用

①所蔵品データ、所蔵品資料データのデジタル化を引続きおこない、館蔵品管理の効率化とネットワーク化を通じてより多様なコンテンツの提供と恒久的な管理を推進する。

・資料保存のため坂本万七撮影フィルムから画像データ化した資料の活用

・館内外利用者の便宜を図るため、図書・文献目録の整理とデータベース化により簡易検索(バーコード)の拡張を行い、学芸研究などの有効活用を図る

②所蔵品の保存状態を的確に把握するため定期的に点検を行い、必要に応じた劣化防止(虫歯害防除作業・修復)と適切な保存方法を講じる。(総合的病害虫管理(IPM)の導入)

・年末年始の休館日を利用して、収蔵庫の清掃と必要に応じて収蔵品の燻蒸を実施する。

・所蔵品の状態を定期的に把握し、必要に応じて修復の措置をおこなう。

④本館書架及び旧柳邸の書斎の書籍・文献の整備と配架作業を進める

## 2. 民藝に関する普及・啓蒙推進

### 1) 国内外の美術館及び他民藝館への所蔵品貸出等による民藝の普及活動

\*日本民藝館の所蔵品を各地の美術館に貸出を行い民藝の振興に取り組む。

①「柳宗悦展」 松本市立美術館、滋賀県立近代美術館(主催・NHK プロモーション、日本民藝館) 内容：陶磁器、染織品、木漆工品、絵画及び宗悦の書や原稿、私家本や写真などの資料約350点

会期：平成25年4月20日～6月9日(松本)、10月12日～11月24日(滋賀)

②「バーナード・リーチ展」豊田市民芸館 内容：リーチ作品及び同人作家作品約200点

会期：平成 25 年 9 月下旬～平成 25 年 12 月上旬

③仮「柳宗悦展」韓国国立現代美術館（徳寿宮美術館）収蔵品約 200 点

会期：平成 25 年 5 月～

2) 各地美術館や大学及び関係団体への講師・講演協力

・日本民藝協会全国大会及び日本民藝協会夏期学校、他美術館や大学等への講師支援

3) 博物館実習生への現場教育の機会提供

・博物館学芸員資格の習得を希望する学生に対し、博物館における実習の場を、大学からの依頼に基づき積極的に提供する。実習生数：約 15 人程度 実習期間：10 日間（講義 4 日、実務実習 6 日）

4) 「日本民藝館友の会・個人維持会」会員への情報提供

①会員を主たる対象としたセミナー、見学会など定期的な開催を企画していく。

②会員に情報「民藝館の特別展・記念講演・見学会の案内」を定期的に送付する。

5) 小学校との連携による美術館教育などの教育普及活動

・民藝の普及活動の一環として、小学生を対象とした鑑賞教室や出張授業などの企画・運営を行う。今年度は、私立桐朋学園小学校と私立武蔵野東小学校の他に、目黒区などの公立小学校を予定している。

6) 一般社会人を対象とした教育普及活動

・民藝の普及活動の一環として、一般社会人を対象とした講演会や座談会を開催する。講師は館長が推薦する各界の識者を招く予定。

7) 国際文化交流事業の推進

国際文化交流を推進する観点から、所蔵品の海外貸出・企画の協力等及び広報物の発行を推進する。

①日本民芸館資料「柳宗悦とバーナード・リーチの往復書簡」英文版を柳宗悦研究や民藝研究者及び、各種団体（大学・研究会・図書館等）に寄贈する。

②韓国国立現代美術館が国内展覧会企画している「仮：柳宗悦展」に所蔵品貸出及び企画制作に協力する。

#### 4. 民藝に関する工人の育成及び協力

1) 日本民藝館展の開催(新作工芸公募展)

会期：平成 25 年 12 月 8 日(土)～12 月 23 日(月・祝) 14 日間

出展公募：民藝の物作りの製作者および協力製作者を対象とした新作工芸品の公募をおこない、出品作品の中から優秀な作品を選考、表彰し出品者への講評会をおこなう。

展示公開：選考された優秀な作品を大展示で展示公開する。

普及活動：入選作品の販売協力を通して民藝の普及に取り組む。

表彰式・講評会：平成 25 年 12 月 6 日(木) 予定

2) 工芸研究講座の開催：木漆工・染織・陶磁器等分野の講座開催

#### 5. 展覧施設の管理と運営

1) 館内施設の改善(快適な観覧環境の提供)

- ①旧柳宗悦邸の活用とその活用に沿った環境整備の充実を進める。  
(展示の理解を助けるツールとして AV 視聴・資料閲覧など)
- ②館者・美観の視点から、必要に応じて入館口周りの整備を実施する。
- ③館内侵入の害獣・害虫駆除と防護策を必要に応じ実施する。
- ④防火装置、空調関係機器、エレベーター装置等の安全・安心に関わる設備の定期的メンテナンスと設備機器の老朽化対策（耐用年数を超えた物）を講じる。

## 2) 広報活動

- ①ホームページによる情報の発信  
展覧会情報や各種催事情報等を積極的に発信する。
- ②マスメディアの活用による普及と集客強化  
館の展覧会・催事について、TV、新聞、雑誌などのマスコミ取材に積極的に対応するほか、ポスター、インターネットの活用など情報媒体の多様化を更に進める。
- ③館展受賞者の公表を雑誌「民藝」のほか、該当地域新聞に情報提供を行う。

以上